

子どもかがやきプランが新しくなりました

- ◆ 『岐阜県長期構想』、『岐阜県教育ビジョン』が目指す方向性、子どもや保護者のニーズを踏まえ、「子どもかがやきプラン」の今後10年の方向性や取り組むべき課題を明らかにしました。
- ◆ 特に、平成21年度から概ね5年間を目途に実施する施策の具体的な計画をまとめました。

「子どもかがやきプラン」改訂の基本理念

地域で学び 地域で育ち 地域に貢献する

障がいの有無や状態にかかわらず、誰もが互いに尊重しあい、一人一人の能力を最大限に発揮することができる「共生社会」の実現を目指し、地域の人たちと適切な人間関係を構築し、地域で自立した生活をし、地域に貢献する力を育成するための教育環境整備を行います。

「子どもかがやきプラン」改訂のポイント

岐阜県教育委員会においては、平成18年3月に「子どもかがやきプラン」を策定し、各地域に特別支援教育の核となる特別支援学校を整備するとともに、特別支援教育を推進するための体制整備に取り組んできました。

「子どもかがやきプラン」の進捗状況を踏まえながら、今後の特別支援教育のより一層の充実を目指し、下記の3点について新たな計画を立てました。

- ① 特別支援学校未整備地域における特別支援学校整備候補地やスケジュール等の具体的計画を策定
- ② 就学前から高等学校卒業後までの一貫した特別支援教育体制の確立に向けた具体的計画を策定
- ③ 地域における就労支援システムの構築、職業教育の充実を図るとともに、職業教育に特化した高等特別支援学校(専門学科)の整備に向けた具体的計画を策定